

「地質の日」 記念イベント！！

「地質学」という言葉を知っていますか？地層や岩石や化石から地球やその環境、生命の歴史を調べる学問です。「地質の日」である5月10日に総合博物館で「地質学」の面白さを体感しましょう。レクチャー、ポスター展示と解説を行います。また、「地質学」を作り上げたライエル、スミス達の古典的名著や地質図など京大所蔵の世界的にも重要な書物も公開します。

日時：2008年 5月 10日(土) 10:00～

場所：京都大学総合博物館 ミュース・ラボ

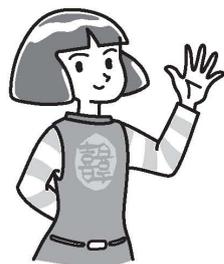


● プログラム ●

10:00～10:40 §1. 「インドネシア・ジャワ島における鍾乳石研究
～石から探る、むかしの天気～」
スピーカー：渡邊 裕美子（わたなべ ゆみこ）
京都大学大学院理学研究科・地球惑星科学専攻 地質学鉱物学教室 助教

11:00～11:40 §2. 「瀬戸内海からゾウがでた？網にかかったナウマンゾウ」
スピーカー：北川 博道（きたがわ ひろみち）
京都大学大学院理学研究科・地球惑星科学専攻 地質学鉱物学教室博士課程 在学

12:00～15:00 「地質に関する地質図書館所蔵の貴重図書」の展示・大学院生によるポスター展示
この時間はスタッフが展示のガイドを行います。（展示会場：総合博物館エントランスホール）



展示公開予定の超貴重図書（理学研究科地質学鉱物学教室図書室蔵）
・1820年出版のスミス（W. Smith）の英国地質図
・1830年出版のライエル（Ch. Lyell）の「地質学原理」の初版。地質学のバイブル。
・京都大学で発行された学術雑誌「地球」第一巻

● レクチャー ●

§1. 「インドネシア・ジャワ島における鍾乳石研究
～石から探る、むかしの天気～」

鍾乳石は、洞窟の中で1年に数十μmほどのゆっくりとしたスピードで成長をしています。その鍾乳石中に観察される“年輪”の炭素・酸素同位体比から、過去の降雨量を読み解いていきます。

渡邊さんからのメッセージ

地球惑星科学専攻で行われている最新の研究成果とともに、「真っ暗な洞窟の中のできる鍾乳石から、明るい外の天気を探る」おもしろさを感じてもらえたらと思います！！



§2. 「瀬戸内海からゾウがでた？
網にかかったナウマンゾウ」

ナウマンゾウの化石が最も多く見つかった場所、それが瀬戸内海です。なぜ瀬戸内海からゾウの化石がでてくるのか、その化石から何が分かるのかを、特にナウマンゾウのオス、メスの違いを中心に実物化石を交えてご説明いたします。

北川さんからのメッセージ

動物園の人気者「ゾウ」。かつて日本にもゾウの仲間がたくさん住んでいました。化石を通してこの巨大な化石動物の暮らしぶりを想像してみましょう。



12:00～15:00 展示会場（京都大学総合博物館エントランスホール）にて
スタッフが展示品のガイドを行います。

◇地質学に関する貴重資料（地質学鉱物学教室図書室蔵/内容はチラシ表面に記載）の展示

■地質学の研究内容を紹介するポスター

高谷真樹	岩石の冷却過程を知る手がかり～ナノメートルサイズの鉱物の模様～
星出隆志	室戸岬斑れい岩体の分化過程ー結晶沈積トレンドと結晶分化トレンドの分離ー
似吹大	沈み込む珪質堆積物の水の保持機構～ハウイー石、スチルプノメレンの例～
上田匡将	地震の化石、天然シュードタキライトの世界～地質学から震源プロセスへの挑戦～
山下翔大	アンモナイト学～マテリアル・サイエンスへの誘い～
野村真一	地層に残された証拠から絶滅したフジツボの住み場所を調べる
山崎誠子	ハワイ海底溶岩の同位体地球化学
泉谷健太郎	鍾乳洞探検～インドネシアと日本の鍾乳洞を巡って～
郁芳随徹	年代測定法を用いた地震時の発熱の検出の試み～茂住祐延断層の試料を用いて～
河内悠紀	鍾乳石はどうやってできるの？～鍾乳石と滴下水、相互作用の可能性～
野本哲也	顕微鏡で覗く地球～栃木県茂木地域の例～
西村智弘	白亜紀デスメセラス亜科アンモノイドの分類と進化
引地原野	鉱脈型鉱床発達地域の古応力：鹿児島県永野地域の場合

□研究試料の展示

一田昌宏	フズリナ化石の顕微鏡薄片観察
北川博道	ゾウの骨化石
渡邊裕美子	鍾乳石
西村智弘	北海道産白亜紀アンモナイト標本（異常巻きアンモナイトなど）

5月10日は**地質の日**

「地質の日」事業推進委員会
www.gsj.jp/geologyday/



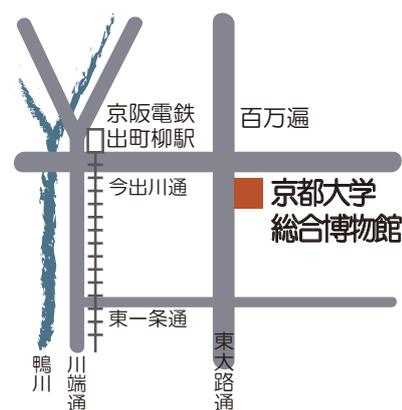
「地質の日」は、私たちの住んでいる大地を構成する地層、岩石、土壌などの性質、すなわち「地質」への理解を推進する日として、制定されました。5月10日は、明治9年（1876）、ライマンらによって日本で初めて広域的な地質図、200万分の1「日本蝦夷地質要略之図」が作成された日であり、明治11年（1878）のこの日は、地質の調査を扱う組織（内務省地理局地質課）が定められた日でもあります。

「地質の日」に関する情報はこちらから→<http://www.gsj.jp/geologyday/>

「週末こども博物館」同時開催

- 主催：京都大学大学院理学研究科・地球惑星科学専攻地質学鉱物学教室
- 協賛：京都大学総合博物館

- 申し込み：不要です。直接博物館へお越しください。
- 対象：小学生高学年以上（小学生の場合には保護者同伴）
- 参加費：無料です。
ただし、博物館への入館料は必要です。
一般400円/大学生・高校生300円/中学生・小学生200円
※70才以上の方、身体障害者の方は入館無料です。
- 問い合わせ：〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学総合博物館
TEL 075-753-3272 FAX 075-753-3277
ホームページ
<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/indexj.html>



京都バス「百万遍(ひゃくまんべん)」下車徒歩約1分
京阪電鉄「出町柳(でまちやなぎ)」駅下車徒歩約15分
※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい。



京都大学地質ネットワーク



THE KYOTO UNIVERSITY MUSEUM